

科目名 (科目番号)	病理学Ⅱ (101141)	教員名 坂田 晃子 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		—	非常勤講師	
授業概要	疾病の原因と病態の解明や治療の効果の有無を明らかにすることを目的とする病理学は、臨床の基礎であり臨床検査などの手技を学ぶためには必ず学ばなければならない重要な学問である。心臓疾患から、骨・関節の代表的な疾患を解説し、症例を見ることにより疾患の概要を把握することができ、より理解できるようになる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	循環器の病理	到達目標:心臓、血管の主な疾患を理解する 学習内容:心臓、血管の主な疾患について学ぶ(筑波大学 坂下信悟)				
	2	呼吸器の病理(1)	到達目標:上気道、下気道(気管/肺)、胸膜、縦隔の主な疾患を理解する 学習内容:上気道、下気道、胸膜、縦隔の主な疾患について学ぶ(筑波大学 野口雅之)				
	3	呼吸器の病理(2)	到達目標:上気道、下気道(気管/肺)、胸膜、縦隔の主な疾患を理解する 学習内容:上気道、下気道、胸膜、縦隔の主な疾患について学ぶ(筑波大学 野口雅之)				
	4	消化器の病理(1)	到達目標:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患を理解する 学習内容:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患について学ぶ(筑波大学 坂下信悟)				
	5	消化器の病理(2)	到達目標:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患を理解する 学習内容:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患について学ぶ(筑波大学 坂下信悟)				
	6	内分泌系の病理	到達目標:内分泌系臓器の主な疾患を理解する 学習内容:内分泌系臓器の主な疾患について学ぶ(霞ヶ浦医療センター 近藤譲)				
	7	造血系の病理	到達目標:造血器・血液系の主な疾患を理解する 学習内容:白血病やリンパ腫を含む造血器・血液系の主な疾患について学ぶ(筑波大学 佐藤泰樹)				
	8	泌尿器系の病理	到達目標:腎臓、尿路(腎盂・膀胱)の主な疾患を理解する 学習内容:腎臓、尿路(腎盂・膀胱)の主な疾患について学ぶ(筑波大学 佐藤泰樹)				
	9	生殖器の病理(1)	到達目標:女性生殖器、乳腺、妊娠関連疾患の主なものを理解する 学習内容:女性生殖器、乳腺、妊娠に関連した疾患の主なものについて学ぶ(日立総合病院 坂田晃子)				
	10	生殖器の病理(2)	到達目標:男性生殖器の主な疾患を理解する 学習内容:男性生殖器(精巣・精巣上体、前立腺)の主な疾患について学ぶ(日立総合病院 坂田晃子)				
	11	運動器の病理	到達目標:運動器の主な疾患を理解する 学習内容:運動器(骨、軟骨、関節、筋および軟部組織)の主な疾患について学ぶ(日立総合病院 坂田晃子)				
	12	皮膚の病理	到達目標:主要な皮膚疾患について理解する 学習内容:主要な皮膚疾患について学ぶ(霞ヶ浦医療センター 近藤譲)				
	13	小児病理	到達目標:小児独特の疾患の主なものを理解する 学習内容:小児独特の疾患(先天性疾患、小児腫瘍を含む)の主なものを学ぶ(日立総合病院 坂田晃子)				
	14	脳・神経系の病理(1)	到達目標:中枢神経系および末梢神経の主な疾患を理解する 学習内容:中枢神経系(脳・脊髄)および末梢神経の主な疾患について学ぶ(筑波大学 坂本規彰)				
15	脳・神経系の病理(2)	到達目標:中枢神経系および末梢神経の主な疾患を理解する 学習内容:中枢神経系(脳・脊髄)および末梢神経の主な疾患について学ぶ(筑波大学 坂本規彰)					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	シンプル病理学			笹野公伸・岡田保典・安井 弥		南江堂	
参考図書	標準病理学 ロビンス基礎病理学(原書8版)			坂本穆彦・北川昌伸・仁木利郎 Vinay Kumarら、豊國伸哉ら訳		医学書院 丸善出版	
教員からのメッセージ	授業の順番が入れ替わる可能性があります。授業開始時期に通知するので確認してください。						